

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	技術者リテラシーⅡ	
科目基礎情報							
科目番号	0063		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材							
担当教員	武藤 義彦						
到達目標							
1. 技術者として自分の将来像を明確化できる. 2. 技術者として必要な技術者倫理が理解できる. 3. 政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解できる. 4. 各学科の専門教育の重要性が理解できる.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	技術者として自分の将来像を明確化でき、将来のあり方について考察し、本校の学習内容が企業等でどのように活用・応用されるかを説明できる.		技術者として自分の将来像を明確化でき、将来のあり方について考察することができる.		技術者として自分の将来像を明確化できる.		技術者として自分の将来像を明確化できない.
評価項目2	技術者として必要な技術者倫理を理解し、技術者としてすべきことを考えるとともに知的財産の必要性を説明できる.		技術者として必要な技術者倫理を理解し、技術者としてすべきことを考えることができる.		技術者として必要な技術者倫理が理解できる.		技術者として必要な技術者倫理が理解できない
評価項目3	政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解し、自らの文化と関連付けることができる.		政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解し、自らの文化との違いを説明できる.		政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解できる.		政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解できない.
評価項目4	各学科の専門教育の重要性が理解でき、学習内容を本校の講義内容と関連付けることができる.		各学科の専門教育の重要性が理解でき、学習内容を授業と関連性を模索することができる.		各学科の専門教育の重要性が理解できる.		各学科の専門教育の重要性を理解できない.
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	技術者リテラシーⅡは、技術者リテラシーⅠと同じく現代の技術者が有するべき知識・素養の修得を目指す科目である. これらの内容は今後の実験・実習、卒業研究また、就職、進学後でも重要な知識であるため十分に理解してほしい.						
授業の進め方・方法	技術者リテラシーⅠと同様に複数人の講師による講義を行う. 本講義では技術者として身につけるべき技術者倫理を学び、その社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割を理解する必要がある. また、グローバルな人材が社会から求められており、技術者として広い視野を持った人材となるため、様々な文化や宗教等を理解し、その知識を身につける必要がある. さらに、本校で行っている専門教育の重要性を理解し、積極的に身に着けグローバル社会に適応できる人材になるをことを望む.						
注意点	技術者リテラシーⅠにおいて学んだ内容に加え、技術者として必要な専門知識の基礎を学んで行きます.						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			技術者リテラシーⅡについて、評価方法や授業内容等の説明を行う	
		2週	学科ごとの就職先			各学科の就職先、その業種や傾向について理解できる.	
		3週	履歴書を書く			履歴書の基本的な書き方について理解できる.	
		4週	労働法制			労働法について重要性と概要を説明できる.	
		5週	グローバリゼーション・異文化多文化理解			様々な国の文化、歴史や宗教などが経済活動に与える影響について説明できる.	
		6週	グローバリゼーション・異文化多文化理解			様々な国の文化と自分たちの文化とを関連付けて説明できるとともに、政治経済に与える影響を説明できる.	
		7週	技術者倫理の基本と実践			技術者を目指すものとして社会的背景や重要性を理解し、社会における役割と責任を説明できる.	
		8週	情報倫理			情報技術が社会に及ぼす影響について理解し、技術者として取るべき行動が理解できる.	
	2ndQ	9週	情報倫理			情報技術が個人情報や著作権などの法律との関連について理解し、技術者として取るべき行動が理解できる.	
		10週	知財教育			知的財産とは何かが説明できる.	
		11週	知財教育			知的財産の社会的意義や重要性などの知的財産の基礎について説明できる.	
		12週	異文化多文化理解			様々な国の文化や歴史に興味を持ち、その違いを理解し、説明できる.	
		13週	異文化多文化理解			様々な国の文化等を自分たちの文化と関連付け、その違いを受け入れ価値観を共有できる.	
		14週	グローバリゼーション			様々な国や地域の特徴を理解し、説明できる.	

後期		15週	グローバルゼーション	様々な国や地域の特色を理解し、持続的発展に技術者として果たすべき役割とそれに伴う責任と行動について説明できる。
		16週		
	3rdQ	1週	各学科受持 研究室配属等 後期1回～14回は各学科で授業を行う。（第7回のみキャリア関連）	各学科でそれぞれの学科の学生に対して研究室体験等を行い、専門科目の重要性が理解できる。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週	インターンシップに向けて	インターンシップに向けての説明を受け、将来ありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考え、実行することができる。
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週	まとめ	1年間で学んだ知識を整理するとともに、技術者として技術倫理、専門知識の必要性が理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	3	前10,前14,前15
				現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を説明できる。	3	前3,前15
				技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	3	前3,前5
				社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3	
				情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3	
				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3	
				過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。	3	
				知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	3	
				知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	3	
				技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	3	
				技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	3	
				全ての人が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	3	
				技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	
				科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任を説明できる。	3	
				科学者や技術者が、様々な困難を克服しながら技術の発展に寄与した姿を通し、技術者の使命・重要性について説明できる。	3	
		情報リテラシー	情報リテラシー	情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	
		グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	

分野横断的 能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	70	70
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	30	30
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0